



本村小だより

令和7年3月3日

3月号

東久留米市立本村小学校

校長 永瀬 功二

<http://www.higashikurume-school01.jp/~hon-e/>

Tel 042-474-0404

令和6年度「Challengeの1年」を振り返る

校長 永瀬 功二

早いもので学校の1年間では最後の月となり、今年度の教育活動を振り返る時期になりました。4月の学校だよりでもお伝えしましたが、今年度の本校のテーマは「3つのCha/Cha/Cha みんなで創る楽しい学校」Chance（チャンスを見つけて）Challenge（挑戦し）Change（変える・変わる）でした。

私も校長として、自分自身も子供たちのために何かChallengeしたいと考え、「①子供たちが運動を好きになるように、毎日休み時間に校庭に出て、子供たちと一緒に体を動かす ②子供たちが挨拶のよきを感じられるように、毎朝校門に立って子供たちと挨拶をする」の2つを目標にして、1年間続けてきました。

学校としても、運動では生活指導部を中心に休み時間の外遊びを奨励し、2学期からは運動委員会を中心に、休み時間にバットやボール、フラフープなどの貸出しを始めました。外遊びをする児童がとても増えて、そのことが子供たちの明るさや活力、友達との仲の深まりに繋がっています。

また、挨拶については、今年度から6年生が月曜日の朝のテレビ朝会に3人ずつ交代で登場し、教室で見ている子に元気な挨拶を呼びかけています。3人はその週の登校時間にも校門に立ち、登校する子供たちに挨拶の声をかけてくれました。

その中で、挨拶当番の週が終わった後も「挨拶ボランティア」として校門に立ち、1年間登校する児童に挨拶を続けてくれた6年生がいました。横山 伯さんです。横山さんの明るく元気な挨拶のお陰で、下級生も挨拶の声が大きくなりました。

その行いは他の児童の模範となる活動として、今年度から小学生も対象となった「東久留米市教育委員会 児童・生徒表彰」に選ばれ、本日学校で表彰されました。

この2月には、5年生が4月からの最高学年に向けて「かっこいい6年生になる！」という目標を立て、そのためのChallengeとして「挨拶運動」に取り組みました。毎日数名ずつ校門に立ち、6年生に負けない声の大ききで挨拶をしています。6年生から5年生へ、「挨拶」のよき伝統を受け継ぎながら、令和7年度も本村小学校はChallengeを続けていきます。



2月に行った「マラソン旬間」



5年生「あいさつ運動」